

上野ひでのり講師 第13回
資金運用計画の立て方

運用資金と適正な元金
=レバレッジコントロール

全ての投資・トレードにおいて資金運用を考えると、証拠金に着目するのは間違っている
 適正ポジションサイズ(丸代金)に着目すべき ⇒ 第11回「トレード体系の決定方法」の「ストップの設定とポジションサイズ」を参照
 証拠金100万円でレバレッジ25倍のとき 2,500万円の資金を持っているのに等しい ⇒ ただし、完璧なリスク管理ができていない前提
 仮に毎回12万ユーロ(EUR/USD)を仕掛けるとする 1ユーロ=100円するとき、丸代金は1,200万円
 拘束される証拠金は1,200万円÷25=48万円だが、ここには着目しない
 ⇒ 丸代金1,200万円のトレードを行っている実感を強く持つことが重要
 元金(証拠金)を決めれば、ポジションサイズが決まる ポジションサイズが決まれば、実質レバレッジが決まる

第11回「トレード体系の決定方法」
「ストップの設定とポジションサイズ」再掲

基本的な考え方(例) 1回のトレードの損失が、総資金(証拠金)の1%を超えないようにする
 決定のステップ(例)
 (1) 証拠金100万円、レバレッジ25倍と仮定する
 (2) 総資金の1%は1万円
 (3) 損失1万円以内でロスカットする 利益確定は2万円以上を目標とする
 (4) EUR/USDのストップ値幅を10pipsとする
 (5) ドル円レートが80円するとき、ロスカット1万円、10pipsと仮定すると 実質レバレッジ12倍
 $1万円 \div 0.0010 \div 80円 = 125,000$ ∴ 12万ユーロの売買可能
 12万ユーロ×100円÷100万円

リターンの期待値

上記例で1回2万円の利益であるとすれば 丸代金1,200万円に対して0.1666%の利回り
 勝率70%の場合 トレード1回平均の利益1.1万円
 利回り0.0916%
 勝率50%の場合 トレード1回平均の利益0.5万円
 利回り0.0417%
 1,200万円×5%=60万円 100万円の証拠金に対して60.0%の利益率
 5%
 勝率70%の場合 $5\% \div 0.0916\% \approx 55$ ⇒ 年間55回のトレードを行えば達成できる
 勝率50%の場合 $5\% \div 0.0417\% \approx 120$ ⇒ 年間120回のトレードを行えば達成できる
 1,200万円×30%=360万円 100万円の証拠金に対して360%の利益率
 30%
 勝率70%の場合 $30\% \div 0.0916\% \approx 328$ ⇒ 年間328回のトレードを行えば達成できる
 年間260営業日として、1日につき1.26回のトレード
 勝率50%の場合 $30\% \div 0.0417\% \approx 719$ ⇒ 年間719回のトレードを行えば達成できる ほぼ不可能
 【参考】私の運用計画 <http://gain-fx.com/cffx.html#unyou>
 運用資金全体に対して8.5%の利益率 ⇒ 1ショットのポジションサイズに対して約17%の利益率
 1トレードのリスク(ストップ)が、元金(証拠金)の1%であるならば、レバレッジを掛けない現物株式投資よりもリスクは低く健全である。

利益の使い方・生かし方

単利運用 1年間(一定期間)において、1ショットのポジションサイズを変えない方法
 複利運用 一定期間を経過し利益が積み上がったなら、再計算して1ショットのポジションサイズを大きくする方法

絶対的な破たんを避けるために

資金計画を明文化し、遵守すること 問題があれば見直し、再度明文化し、遵守すること
 ロスカットルールを絶対的に守ること